





Rotary

川崎大師ロータリークラブ 週報

会長 星野 祐治
副会長 八尋 匡彦
幹事 奥山 啓寛
SAA 布川 浩

例会日:毎週水曜日 PM12:30~
 例会場:大本山川崎大師平間寺信徒会館
 事務局:〒210-0812 神奈川県川崎市川崎区東門前1-15-10 カーサ石井1F
 Tel.044-277-7569 Fax.044-288-8550
 URL <http://www.kawasakidaishi-rc.com/> E-mail:daisi-rc.1973@air.ocn.ne.jp

第2372回（本年度 第10回）例会 令和5年9月27日 一晴一

●司 会 布川 浩SAA



本日のロータリーソング
「奉仕の理想」須山文夫ソングリーダー



●点 鐘 星野祐治会長



卓話者紹介 星野祐治会長

臨港地区モビリティ
川崎鶴見臨港バス 運輸部長 岩田 貴様
川崎鶴見臨港バス 運輸部営業課長 小杉 直様

会長報告 星野祐治会長

①第1グループ7クラブ親睦ゴルフ大会ご案内です。
一人でも多くの方に参加していただきたいと思ひます。

幹事報告 奥山啓寛幹事



配布

- ①会員名簿
- ②横浜南RACより「タバコ吸い殻拾い&ウォーキング例会」開催のご案内

回覧

- ③職場移動例会のご案内
- ④地区大会の出席表11月11日土曜日
- ⑤赤い羽根共同募金の広報誌
- ⑥近隣クラブの例会変更・週報

案内

- ⑦第3回研修&フォローアップ委員会の案内
- ⑧9月29日(金) 事務局の竹下さんがお休みにになります。

出席報告

町田喜江出席委員長

	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2372回	44	39	28	11	71.79%
2370回	44	40	27	13	67.50%
前々回の修正	メイクアップ	4名	修正出席率	77.50%	

メイクアップ:

野沢隆幸会員、林 鶴会員、坂東保則会員、佐藤和義会員



スマイルリポートの報告 八尋匡彦副会長



須山文夫会員

9/21ファイヤーサイドにご参加の皆様、ありがとうございました。本来難しい会ではないので、今後もよろしくお祈いします。

牛山裕子会員

350年の歴史あるお三つの宮日枝神社の祭礼で初めての女性祭礼委員会(名代)をつとめました。神事でもあり、引いておりましたが、伊勢佐木地区のおかみさん達が自分事のように喜んでくれてほっとしました。

奥山啓寛幹事

岩田様 小杉様本日の卓話楽しみにしております。よろしくお祈いします。

星野祐治会長

川崎鶴見臨港バス、岩田 貴運輸部長様、小杉 直運輸部営業課長様、川崎大師ロータリークラブ例会にお越しくださり有難うございます。本日例会の卓話宜しくお祈い致します。

本日のニコニコのテーマ

「岩田 貴様、本日の卓話宜しくお祈い致します。」

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 松井昭三会員 | 平位 武会員 | 清水 暁会員 |
| 布川 浩会員 | 野沢隆幸会員 | 炭谷博功会員 |
| 小林勇次会員 | 檜山雄彦会員 | 石渡勝朗会員 |
| 竹中裕彦会員 | 原慎一郎会員 | 小泉敏和会員 |
| 町田喜江会員 | | |

委員会報告

●職業奉仕委員会／親睦委員会

矢野清久職業奉仕委員長

10月18日水曜日 職場訪問、移動例会を行います。
めったに入ることができない警察学校を見学させていただきます。授業の見学もプログラムの中に含まれています。警察官になる前にこういう指導をされているのだなということを見ていただきたいと思います。
その後ロイヤルパークホテル 68階 皇苑で景色を楽しみながら親睦を深めていきたいと思います。
ぜひ多くの皆様の出席をお待ちしております。



●フォローアップ委員会／クラブ研修委員会

竹中裕彦フォローアップ委員長

今月はファイアースイドでお休みをしておりますが10月に第3回研修とフォローアップ委員会のお知らせを配布させていただいております。職場訪問の次の週です。

日時：10月25日 18時～ 場所：事務局

内容：「社会奉仕について」

安藤賢一会員に話を頂ければと思っています。

第4回は11月8日に予定しています。スケジュールリングを
よろしくお祈いします。



●ロータリー財団委員会

石渡勝朗ロータリー財団委員長

昨日、事務局でオンラインにより行われた「地区ロータリー財団セミナー」に出席しました。

簡単に報告します。星野会長、秦副幹事、竹下事務局長様にはオンラインの設定に大変お世話になりました。おかげさまで無事終了出来ましたので感謝申し上げます。詳細な資料につきましては事務局にありますので、ご参照ください。

講義内容は、

- ①ロータリー財団の近況
- ②補助金の分配とロータリー財団資金の使われ方
(組織、概略、資金の分配、事業他)
- ③地区補助金とグローバル補助金
- ④奨学金制度の概要
(ロータリー財団の地区奨学生とグローバル奨学生)
- ⑤学友会活動
- ⑥資金管理委員会の役割と財務審査の要点
- ⑦ポリオの現状と寄付のお願い

で、約2時間半のセミナーでした。

ポリオの寄付金についての質問がでました。世界で7名になりましたがこれだけ莫大な資金を集める必要があるのかという質問がありました。本部では四苦八苦の回答をしておりました。



●米山奨学事業委員会 牛山裕子米山奨学事業委員長
ガバナーが来た際に米山の決算書を頂きたいと申し上げました。2022年の決算書をいただきました。皆様に回覧いたします。

日本中の寄付が16億3,871万円でした。支出も合いますが、積立金を崩しているということです。わかりやすく書いてあります。

こんなことにも使われているのということで皆様、お目通しください。よろしくお祈りします。



交通事業の課題が山積している中で、臨港バスとしては地域密着という強みを生かして既成概念にとらわれず、新しいことにチャレンジしていこうと考えています。

その一環として今年3月から川崎駅前から塩浜に連結バスを運行させて頂いています。その第2弾として地域の交通ネットワークモデルを通して地域に貢献できればと思っています。

昨日川崎市役所でプレス発表をしました。その内容を地域に合わせる内容にアレンジして話をする予定です。10月2日から実証実験が開始します。どうか皆様も機会がありましたらお願い申し上げます。

卓話

卓話者の紹介 平位 武プログラム委員長
本日の卓話は臨港地区のモビリティということです。卓話をしていただくのは弊社、臨港バス運輸部長 岩田 貴さん、パワーポイントの操作は小杉さんよろしくお願いします。

岩田部長の略歴を簡単に申し上げますと、1994年（平成6年）4月に入社しました。勤続29年です。営業所に配属になり、運行関係（事務）をやりまします。その後本社にまいりまして人事・労務関係をします。後に塩浜、鶴見の所長を歴任し昨年2022年6月から現職の運輸部長です。

本日の卓話は、まるで臨港バスの宣伝みたいですが、そうではなく、今マスコミで2024年問題といろいろなところで聞いていると思いますが、バス、トラック、タクシーの運転手が不足している。労働条件が変わる。

卓話 臨港バス 運輸部長 岩田 貴様

「臨港地区のモビリティ」
動画視聴 我々の活動について説明

近未来の先進的な「モビリティ」を体験しよう！！
資料より

新しいことに挑戦しようということからなのですが、ご存じの通りコロナウイルスの感染が蔓延したときに、「公共交通は不景気とは関係ないんじゃない？」というイメージがありました。あれだけの行動制限をとられてしまうと、見事なぐらいにお客さんがいなくなりまして、近隣のバス事業者、鉄道会社もそうですが、今までと同じことをやっても厳しいという感覚を持つようになりました。



先ほど話がありましたが2024年の法改正により運転手の労働時間の規制が行われます。

前から話は出ていましたが大型2種免許の所持者がどんどん減っています。2024年問題以前の話で、そもそも若い人が車の免許をとらないとか、車の免許をとらなければ大型バスなどはもっとハードルが高くなってしまふので取る人がいなくなってくる。各社とも少ないバスの運転手さんを取り合いになっているというのが現実です。我々も既存と同じことをやってもなかなか臨港バスを選んでもらえないというのがあります。また違う事をやればバスを運転する前に若干違う乗り物を運転して練習してもらっていずれはバスの運転手になる。

バスの運転手もだんだん高齢化が進んでおり、当社においても60を超えている運転手100人くらいはいますが、そういう人たちが、夜になると目が見づらいということをお願いします。ただ就労意欲もある。我々も働く場所を提供したいというところで、既存のバスだけでは、やはり厳しいと、何か違うことをやろうということで新たなチャレンジということで考えたところでございます。

今までの取組と今回の取組が何が違うかと申しますと、今まではバスの事業者が路線をひいて、こういう路線をひきますということなのですが、今回の地域共創モデルプロジェクトというのは後ほど説明させていただきますが、事業者だけではなく異業種の方々と連携して地域用の交通を考えようという取り組みです。

資料の2番目にありますが、川崎区の交通網で特徴的なのが川崎駅を起点に、川崎市交通局さんもそうですが、海の方に向かう東西の軸。地図でいうと横軸というのはすごく充実しているのですが、南北を結ぶ縦軸というのがとても弱いと。

私も塩浜営業所にいたときに、営業所のそばに大師高校があります。浅田の方に住んでいる人たちというのは一

度川崎駅、もしくはさつき橋に出てバスを乗り継ぐと。「一本で行けるバス路線はひいてもらえないのですか」と、いうのはかなり言われました。

浜川崎の営業所にいたときも小田地区の人が「大師に行きたいのだけど、それも乗り換えが必要になると、路線網が充実していますが、以外と縦軸の路線が弱いって使い勝手が悪いよね」というのが現実です。

そういう問題を解決するには既存のバス路線ですと採算性の面や、縦軸の広い道というと産業道路になってしまうとか、今でいう大師線が走っている路線とか限られてしまいます。

「こういうところから違うものを考えないとだめだよ」というところに至りました。

今年3月に運行開始しましたが、ゆくゆくは川崎駅から水江町まで走っている連結バス、川崎BRTですが、朝と夕方のラッシュ時間しか走っていないので、知らない人も多くて知らないんです。

余談ですが、せっかく連結バスを走らせるからいろいろなおもちゃを作った方がいいんじゃないということで作ってみたいのですが、売れないです。なぜかという、知らないんです。川崎駅前などで販売会をやりましたが、「これはどこで走っているのですか？」と結構いわれました。そこで状況を話すと「その時間だと絶対に見ないよね」と言われました。

せっかく作ったグッズがなかなか売れないというのがあります。

話は戻しますが共創モデルプロジェクトについてです。

パワーポイント資料をお願いします。

資料2-1P (下段)

国土交通省の共創モデルプロジェクトです。

聞きなれない言葉で、私もこのプロジェクトをやるまで全然聞いたこともなかったのですが、国土交通省が多様な関係者が共に創りあげるという形です。特徴としては官民共創、交通事業者が共創、多分野共創で業界や分野を越えて連携すると言う事がプラットフォームになっています。

この辺が今までの取組と違って、今回の事業についても病院関係の方々や地域NPO法人の方々といろいろ意見交換をしながら考えたシステムでございます。

資料2-2P (上段)

この資料も国土交通省の共創プロジェクトとしてご紹介され、ホームページ等々でも記載されていますが、我々は表題の通り「2023KAWASAKI新モビリティサービス実証実験」という記載でこの事業を始めております。

先ほど申し上げましたが、川崎区内のバス路線、横軸はしっかりしているけれど縦軸が弱いという移動ニーズ、運転手不足という地域の様々な課題を皆で考えて、解決していこうということです。

この資料で3番目実証事業の内容というところで、デマンドバスの実証実験、これはいま話をしているところですが、自動運転バスの実証実験も行います。ただ、これは実証実験で一般の方が乗ることができません。今日、この辺の話は割愛させていただきます。

資料2-2P（下段）

このプロジェクトを進めるにあたり新モビリティサービスの協議会を立ち上げました。オンデマンドバスに関する共創プロジェクトとして、代表幹事というのは私ども臨港バスがやっていますが、行政である川崎市、三菱商事、ネクスト・モビリティ、ネクスト・モビリティという会社さんはなかなか聞きなれないですが、三菱商事さんと九州の西鉄さんが出資して新たな乗り物を考えようというところで設立して運営している会社です。とくにこのルートというのはネクスト・モビリティさんが一生懸命やってくれているところで、我々もこちらには協力をいただいてこの事業をやるところです。神奈川県タクシ協会、NPO法人のレインボーさん、NPO法人キッズアート・プロジェクト、スーパーでビッグライズさんライフさんなどもミーティングポイントを設置させて頂いております。本当に多業種の方々と連携して進めている事業です。

資料2-3（上段）

実際のオンデマンドバスの運行説明です。バス事業者が自ら事業主体となっております。オンデマンドバスは全国的にみるとタクシー会社が主になって運行しているところが多くて、なかなか既存のバス会社がこれをやるとするのはケースとしては少ないです。先ほど申し上げたネクスト・モビリティさんは西鉄が出資しておりますので、博多ではこのようなバスが走っております。

「バス会社がやるというのは何がメリットあるの？」という部分ですが、運行管理に関して他社がやるよりも経験がある。運転手もバスの運転手がやりますので、車としてはハイエースのサイズですから普通免許。無償ですから私でも運転はできますが、これが有償となるとタクシーと同じで普通2種免許になります。

今回は大型2種免許をもった運転手がやりますので、その辺が通常のデマンドバスの運行と変わってくるのではないかなというところ。これをやることで車内が狭いですから、よりお客様と密接な距離感になり実際にお客さんの声が運転手に届いたりとか、実際に走ってみて自分たちでこういう問題があるんじゃないかという気付きがあるのではないかなと思っております。気付き、学びが既存のバス運行にも何かしらの形で影響していけばもう少しよくなるのではないかなと思ってます。

実証実験というのは10月2日から12月15日までの月曜日から土曜日までの運行になります。運賃も無料です。日曜日は運行しません。運行時間が朝8時から18時30分の

間です。車はワゴン車、トヨタハイエースを2台使用しています。

ハイエースなのでお客様が8人しか乗れません。実際に福岡で運行しているルートを乗りに行きました。朝の時間、8時になるとあっという間に予約が埋まってしまいます。私が経験した時には予約をしたら2時間待ちとかです。

乗れるところまで乗ってみようと思ってみたら今度は1時間30分待ちとか、全く身動きがとれなくなってしまうケースもあります。

この辺は実際に実験をしてみて、あまりに利用者が多すぎると車を増やすなり、どうしようかという課題になるのではないかと思います。

運行エリアについても路線のエリア図をお見せしますが、川崎の南東部の6km四方のエリアで運行しますので、その人口がだいたい10万人だそうです。この様なデマンドバスは10万人も人口のいる規模ではほとんど運行したためしがないと、言葉は悪いですがあまり人のいない地域、バスが撤退してしまった地域や、エリアでやっていますので、多客になった時にどうさばいていこうかというのが課題になります。予約をしても2時間待たなければ乗れない、じゃあ使わないとなってしまうじゃないですか。

そこを避けるにはどうしようかというのが課題ですが、一杯になると思っても実際にふたをあけたら全然利用してくれる人がいない、というのもそれはそれで悲しいものがあるので、ちょうどいい塩梅で利用していただけるのが一番なのですが、ふたを開けてみないとわからないなというところ。後ほど登録方法の説明をさせて頂ければと思います。

ラインと専用アプリがあります。ラインアプリを入れている方はラインが早いです。専用のアプリをいれていただくと、自分が乗る時間の8分前になると今自分の乗る車がどこにいるのかが地図上で見られるようになります。そこは私も使用して有益だったなど、どこまで家にいられるかなど。家を出る直前に通常バスだと早めに行こうと余裕を持っていきますが、こういうアプリがあるとギリギリまで建物の中において、バスが来る直前になってバスに乗りに行けばいいのかなど。

例えば今年の夏などは非常に暑かったですからスーパーであるとか、冷房のきいたところでしたら、バスの動向を追って直前になってバスに乗れるというのが、今までにない乗り物じゃないのかなど。些細なことですが夏や冬というのは良いのではないかなと個人的には感じるところです。

資料4-4（上段）

我々がバスの運行だけでなく、バス事業者単体でやっているわけではありませんので、地域といかに協調しながらというのがあります。

記載の通り大師支所と田島支所を使用して予約の説明会

等々も行います。

大師支所は10月11日 午前中2回（10時～、11時～）

田島支所は10月12日 午後2回（14時～、15時～）です。御家族の方などに宣伝をしていただけると我々も有難いです。

9月22日に1度大師支所と田島支所でやりましたが、合計で6名しか来なかったというのがあるので、その数字を聞くとこの事業は大丈夫なのかなというところがありますから、まだ実際に運行していないからイメージもつかないというのもあるとは思いますが、本当に利用すると便利なものであると思いますので、お時間があれば来ていただけるとありがたいと思います。

資料4-4（下段）

地域との関係性で、大師ONE博というお子様たちといういろいろなイベントを企画してくれるNPOがあります。実際に直近ですと10月14日大師公園で「ゆるっとまるっとパーク大作戦」というイベントを設定してくれました。大師公園は近隣ですと自転車や歩いてというのがありますが、大師支所がちょうどミーティングポイントになっていますので、少し離れた方々も大師公園に行きやすくなるのではないかなと思っています。

逆にいうとこういうイベントを企画してくれる方々、我々はその行く足を提供するということでより地域と密接なものになっていくのではないかなと思っています。

資料4-5（上段）

臨港病院さんや、キッズアートプロジェクトとありますが、連携しまして実際に臨港病院さんではコロナが流行った時に外来患者さんを隔離するためのプレハブ等々がありました。子供たちに絵を描いてもらい、そこにこのモビリティの待合所として開放するというのもやっております。

またこのノルートの車内には子供たちが描いた絵を展示します。子どもたちが乗ればいいのですが入院しているお子さんたちになりますと、そこにお見舞いに行くご家族の方が絵をみたり、バスという乗り物をもう少し身近に感じていただき、体の具合がよくなり大きくなったらバスの業界に勤めるとか、興味をもっていただくなどということもできればと思っています。

地域の取組はこういう形になりますが、お配りした運行マップ（資料8-2）を見て頂くとわかりやすいです。

地域に密着した場所にミーティングポイント、バスでいうと停留所をミーティングポイントとっています。病院やスーパー、郵便局、極力わかりやすい所においてあります。

場所によっては壁に先ほど案内したようなミーティングポイントという紙が貼ってあるだけというところもありますから、そこがわかりづらいという意見をいただくかもしれません。使っていただければ非常に便利だなと。

福岡ではこれがあると「歩かないでいいね」といったのですが、福岡だと今までは公共交通を使わないでドアツードアで車で移動している人が多かったんです。

それがこれに乗ることによって近隣のミーティングポイントまで歩いて、降りてから目的地まで歩くということで、歩くことが増えた、という話もございました。そういうところからいろいろな意味で健康増進につながればいいのかなということもあります。

既存の大型バスにとらわれずに新たな取り組みをできればと思っています。

来週からこの実証実験が始まります。今年の実証実験の結果が芳しくない次の実験に移れませんので、一人でも多くの方に利用していただき、ご意見をいただきたいというのが私の願いです。

臨港バスとして引き続き安全運転に努めていきます。新たな取り組みをして川崎区、幸区、横浜市鶴見区ですが、地域の皆様の足となれるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

ありがとうございました。

卓話御礼 星野祐治会長

本日の卓話、ありがとうございました。

運行マップを拝見させて頂きまして川崎というのは本当に横軸は充実されていて、しょっちゅうバスも走りますし、朝早くから夜遅くまで走っています。

縦軸が住んでいる私も弱いような気がしていて、今、ミーティングポイントを見ますと、その辺の縦軸を重点的に設定し、例えば何番から何番まで行きたいということで事前に予約をしておく、それに対してAIで運行していくという考え方でよろしいでしょうか？

地域と密着して臨港バスさんが地域住民とのふれあい、お付き合いの中でこのように素晴らしい事業展開をしていくということが我々住民、市民にとっては大変貴重な。川崎といえば10万規模ということですが、その中でも高齢社会、年寄りが多くなりました。

横軸のバス停に行くのも苦労という方もいらっしゃるのかな。そこで自分の近いポイントを見つけて、買い物をする場所や病院など行きたい場所が結構網羅されていて、素晴らしいポイントを考えているのかなと思っている次第です。

ぜひ今後どんどん進めて行っていただき1台から10台、20台と、どんどん2024年度問題で労働者関係で長時間勤務が厳しくなります。といわれていますが、その中でコミュニティバスというバスなのか、本当に地域密着の運行をしていくというのかな。

本日は本当にお忙しい中、貴重な時間に、大変良い話をいただき誠にありがとうございました。



閉会宣言・点鐘 星野祐治会長

日時：2023年10月11日(水)

休会です。

日時：2023年10月18日(水)

職場訪問移動例会 です。

《職場訪問》神奈川県警察本部 警察学校

《移動例会》横浜ロイヤルパークホテル

68階「皇苑」

クラブ
報
告
委
員
会

檜山 雄彦／八尋 匡彦／竹中 裕彦／大崎 克之